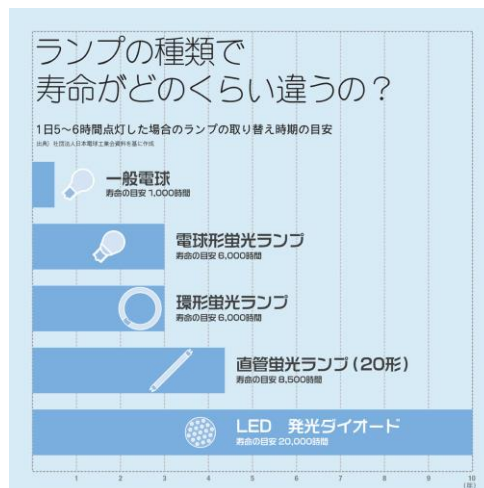


照明器具、もう1度見直してみませんか！

左の図は照明機器の寿命（取り換え時期の目安）を表しています。

通常の電球のほか、電球形蛍光ランプ、環型蛍光ランプ、直管型蛍光ランプなど、いろいろな照明器具がありますが、やはりLEDの寿命が群を抜いていますね。

当社では、企業用・工場用のLED照明を各種取扱いしています。稼働時間が長い場所では、数年で元が取れるますので、ぜひお声掛けください。無料でシミュレーションを行い、提案させていただきます。



「Eco列車でいこう！」～第81回 いい湯だな。鳴子温泉！～ (CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです！)

3月5日(土)。まだ真っ暗な新潟駅。4:56 発の快速村上行きは、意外にも6両もつないでいる。車内に人影はまばらで、1両あたり4～5人程度の乗車だ。

村上からは羽越本線酒田行に乗り換える。三面川の鉄橋を渡ると左にカーブをしながらトンネルに入り、まもなく海が見えてくる。今日の日本海は穏やかだ。

県境を越えて山形県に入る。鼠ヶ関、あつみ温泉あたりから、朝練のために鶴岡に通う高校生が乗ってきて、少しにぎやかになる。

7:58 余目(あまるめ)着。陸羽西線のディーゼルカーに乗換え。2つ目に狩川では、大きな風車がたくさん風を受けて、気持ちよさそうに回っている。最上川から日本海へ向かう風の通り道で、「風車のまち」として有名だ。その最上川の流りに沿いながら、2両の列車は「けなげ」に走って新庄に着いた。

新庄 8:53 着。9時前に新庄にいるのだから、早起きの効果は大きい。乗換えに1時間くらいあるので、事前に調べておいた焼き立てパンのお店で朝食を購入した。

駅に戻り、陸羽東線の列車に乗車。この線の特徴は、「温泉」に関する駅が多いことだ。「瀬見温泉」「赤倉温泉」「中山平温泉」「鳴子温泉」「鳴子御殿湯」などの駅名がずらりと並び、各駅には「温泉と夏景色」の案内板が整備されている。

11時すぎに「鳴子温泉」に到着した。駅の中にある案内所で情報を集め、共同浴場「滝の湯」へ向かった。こんこんとかけ流される硫黄泉。熱めのお湯は効能豊かだ。

「滝の湯」近くの蕎麦屋でビールを飲んで、土曜日なのに閑散としている鳴子の街あるきをした。足を延ばせば、芭蕉ゆかりの「尿前の関」があるが、残雪があるので断念し、お土産に「温泉たまご」を買った。

小さな街なので、一通り回るのに、あまり時間はかからなかった。余った時間で、足湯を楽しんだ。足湯は駅前にあり、発車寸前まで浸かっていたからか、車内ではぼかぼかだ。

こうして30年ぶりの「鳴子」を存分に味わってから、再びローカル線で帰途についた。

